

西蔵王(夏～秋)



やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
 山形市旅籠町二丁目3番25号
 TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

西蔵王で見られる動植物



＜フシグロセンノウ＞

太平洋側に多いナデシコ科の植物で、以前から西蔵王には多く、芸工大裏の悠創の丘から瀧山中腹までの広い範囲に自生します。ナデシコ科の植物では大きいほうで、花も美しい色で目立ちます。(花期8月～9月)

山地帯のコナラを中心とした雑木に寄生するヤドリギ科の植物で、県内では村山地方以外では確認されていません。県ランク絶滅危惧 I A類で絶滅が心配されています。落葉性なので、見つけるのが大変です。

(果期10月～2月)
 (山形県版絶滅危惧 I A類)

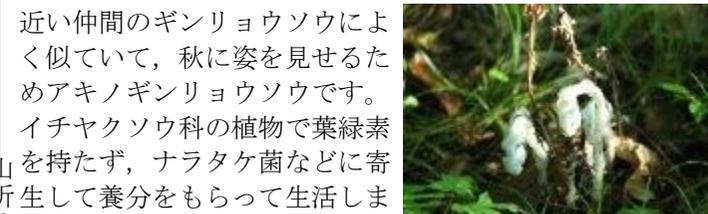


＜ホザキヤドリギ＞



＜ヒツジブサ＞

スイレン科の植物で、午後2時頃、昔で言う羊の刻に花を開くことからヒツジグサの名前があり、睡蓮(スイレン)とも言われます。白い清楚な花で、秋に葉が紅葉するまで咲き続けます。



＜アキノギンリョウソウ＞

山折り

西蔵王で見られる動植物



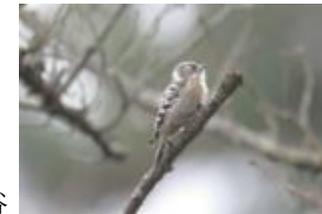
＜ムモンアカシジミ＞

成虫は鮮やかなオレンジ色のハネをしており大変に目立ちます。7月下旬頃から発生します。幼虫はアブラムシを食べて育つという特殊な生態をしています。成虫は夕方に活発に活動します。



＜キジ＞

みには顔の赤い肉冠と長い尾があります。平地から山林、草原、農耕地、河原などに生息しています。人工繁殖で毎年放鳥され、ケンケンと大きな声で鳴きます。(留鳥)



＜コゲラ＞

平地から山地の森林に生息しています。大きな波形を描いて飛び、枯れかけた木に穴をあけて巣をつくります。ギーーギーーと鳴き、幹から枝先へと移動して昆虫類を食べます。(留鳥・漂鳥)

谷折り